

中期経営計画

〈計画期間〉
2018年4月～
2021年3月

ネクストバリュー NEXT VALUE

～お客さま・地域との共通価値の創造～

目指す姿

未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造(CSV)[※]する銀行

※ CSV : Creating Shared Value

基本方針

- 地元への積極的な資金供給による地域経済の活性化
- 本業支援とコンサルティングを通じたお客さま本位の業務運営

● 基本戦略

営業力 強化戦略

法人営業 課題解決や本業支援を通じたお取引先の企業価値向上
個人営業 お客さま本位の業務運営と効率的なリテール営業の実践
地方創生 地域の活力を創造する地方創生の推進
FinTech 外部連携の強化やデジタルイノベーション技術の活用により顧客利便性を向上

生産性 向上戦略

業務効率化 従来の「やり方」や前例踏襲の「考え方」から脱却して生産性を向上
店舗再整備 マーケットや環境変化を踏まえたチャネル最適化と経営資源の再配分
働き方改革 限られた時間の中で成果をあげる創意工夫、働きやすく、働きがいのある職場へ

経営力 強化戦略

市場運用 総合損益を重視し、柔軟にポジションをコントロール
コンプライアンス 強固なコンプライアンス態勢の維持・向上
リスク管理 リスク管理体制の高度化
ガバナンス 企業価値の向上へ向けたガバナンス体制の充実・強化

● 計数目標

	2020年度
中小企業向け貸出金残高	2,500億円
投資信託残高	435億円
非金利収益比率 [※]	12.6%
当期純利益	7億円程度

※非金利収益比率=役員取引等利益÷(業務粗利益-国債等債券関係損益)

● ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、2020年9月期の決算概要や最近の取組みなどについて紹介する「とりぎん通信／2020中間期ミニディスクロージャー誌」を発刊いたしました。ご高覧の上、ご参考にしていただければ幸いです。

さて、今年度上半期は、新型コロナウイルスの影響により経済成長は落ち込み、社会全体が感染拡大防止と経済活動の両立を図るなか、輸出や個人消費は大きく減少しました。世界各国の経済活動再開や日本政府による観光支援策等により、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、感染終息の見通しは立たず、依然として予断を許さない状況が続いています。

次に金融市場では、金融財政政策の下支えや経済の回復期待を反映し、足元では新型コロナウイルス感染拡大による株価急落前の水準まで回復しています。一方で、新型コロナウイルス関連倒産は約600件に上っており、実質無利子・無保証料融資等により資金繰り支援を受けた多くの企業が、今後、環境に適応し売上を回復することができるのが焦点となっています。

このような環境の下、当行は「地域社会への貢献と健全経営」を経営理念に掲げ、2018年4月より中期経営計画「NEXT VALUE」に取り組んでおります。「営業力強化」と



取締役頭取
平井 耕司

「生産性向上」の両立により「収益力の強化」を図るとともに、「顧客本位」のビジネスモデルを実践することにより、「未来への変革に挑み、お客さま・地域との共通価値を創造する銀行」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月